

平成26年度上半期 予算執行状況 (4月～9月)

一般会計

予算現額 336億4,434万円
 収入済額 157億1,841万円(収入率46.7%)
 支出済額 119億5,303万円(支出率35.5%)

上段：予算現額
 下段：収入済額(収入率)

歳入

86億7,546万円	地方交付税
61億8,066万円(71.2%)	
82億1,786万円	市 税
47億5,973万円(57.9%)	
61億8,832万円	市 債
0万円(0.0%)	
41億3,704万円	国庫支出金
15億8,782万円(38.4%)	
17億 437万円	県支出金
2億 686万円(12.1%)	
9億6,123万円	繰越金
16億4,364万円(171.0%)	
8億7,902万円	諸 収 入
2億2,630万円(25.7%)	
8億5,000万円	地方消費税
4億8,396万円(56.9%)	交 付 金
5億1,296万円	繰 入 金
0万円(0.0%)	
4億8,102万円	分 担 金
1億8,905万円(39.3%)	負 担 金
10億3,706万円	そ の 他
4億4,039万円(42.5%)	

歳出

上段：予算現額
 下段：支出済額(支出率)

103億1,925万円	民生費
35億4,336万円(34.3%)	
43億7,960万円	教育費
15億3,869万円(35.1%)	
41億2,812万円	総務費
18億 202万円(43.7%)	
39億8,318万円	土木費
6億2,675万円(15.7%)	
29億3,633万円	公債費
13億7,346万円(46.8%)	
26億7,296万円	衛生費
12億1,101万円(45.3%)	
21億2,230万円	消防費
8億9,714万円(42.3%)	
10億4,498万円	農 林
2億1,578万円(20.6%)	水産業費
7億6,119万円	災 害
1億8,459万円(24.3%)	復 旧 費
12億9,643万円	そ の 他
5億6,023万円(43.2%)	

決算状況の推移 (一般会計)

	歳入総額	歳出総額	
			うち震災分
21年度	315億9,355万円	297億7,485万円	
22年度	315億 124万円	290億8,494万円	
23年度	359億4,027万円	312億6,248万円	38億8,406万円
24年度	394億4,788万円	356億9,904万円	58億9,994万円
25年度	372億1,463万円	341億7,099万円	41億3,312万円

市の歳出決算額は、平成22年度まで300億円に満たない規模で推移してきました。しかし、東日本大震災が発生したことにより、被害を受けた施設などの災害復旧や復興への事業を実施したため、平成23年度から歳出決算額は300億円を超え大きく増加しました。

平成25年度も、引き続き300億円を超える歳出決算額となっていますが、平成24年度と比べ減少しました。これは、災害復旧・復興事業が進み、その事業費が減少したためです。関連する国や県からの補助金も減少したため、歳入決算額も減少しています。

健全化判断比率、資金不足比率は引き続き健全な財政運営を維持

健全化判断比率と資金不足比率は、地方公共団体の財政破たんを未然に防ぐための指標です。

平成25年度決算では、すべての比率で早期健全化基準を下回り、「健全段階」にありました。また、資金不足を生じた公営企業はありませんでした。

■本市の健全化判断比率 (単位：%)

	健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	12.51	20.00
連結実質赤字比率	—	17.51	30.00
実質公債費比率	10.0	25.0	35.0
将来負担比率	84.1	350.0	

※「実質赤字額」、「連結実質赤字額」が黒字の場合「—」で表記

■本市の資金不足比率 (単位：%)

会計名	資金不足比率	経営健全化基準
農業集落排水事業	—	20.0
観光事業	—	
下水道事業	—	
太陽光発電事業	—	
水道事業	—	
簡易水道事業	—	

※「資金不足額」が黒字の場合「—」で表記

特別会計

会 計	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	支出率
国民健康保険事業	111億6,573万円	42億3,815万円	38.0%	46億1,364万円	41.3%
介護保険事業	63億4,349万円	24億7,115万円	39.0%	24億4,739万円	38.6%
訪問看護事業	2,600万円	756万円	29.1%	1,250万円	48.1%
農業集落排水事業	1億8,700万円	1,663万円	8.9%	7,761万円	41.5%
観光事業	3億6,400万円	4,470万円	12.3%	6,686万円	18.4%
下水道事業	19億3,668万円	1億7,979万円	9.3%	6億3,693万円	32.9%
土地取得事業	5万円	0万円	0.0%	0万円	0.0%
火葬場事業	1億 972万円	4,791万円	43.7%	4,370万円	39.8%
後期高齢者医療事業	7億3,462万円	2億3,915万円	32.6%	1億5,510万円	21.1%
太陽光発電事業	7億9,645万円	6,201万円	7.8%	2,025万円	2.5%
合 計	216億6,373万円	73億 704万円	33.7%	80億7,398万円	37.3%

公営企業会計

会 計	収 入			支 出		
	予算現額	執行額	収入率	予算現額	執行額	支出率
水道事業	収益的	19億8,364万円	9億3,244万円	47.0%	18億1,824万円	47.7%
	資本的	10億1,959万円	3億6,572万円	35.9%	18億5,310万円	38.5%
簡易水道事業	収益的	1億3,755万円	2,925万円	21.3%	1億3,046万円	13.9%
	資本的	1億4,490万円	54万円	0.4%	1億8,050万円	19.6%
合 計	32億8,568万円	13億2,795万円	40.4%	39億8,229万円	31.1%	

※各表の計数は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります

市では、小見川地域の「観光施設案内」「食のまちめぐり」「ウォーキング」「サイクリング」など多目的に利用できるマップ作成を検討するために「まち自慢」ワークショップを開催します。ワークショップでは、小見川地域の観光資源などの再発見と掘り起こし、PR手法の検討を行い、市民や観光客に小見川地域の「まち自慢」を魅力的に紹介して、活性化を図ります。

■対象
 ◇市内在住で満18歳以上の人(11月1日現在)
 ※高校生は除く
 ◇原則、平日の昼間に開催する会議に出席可能な人
 ※土・日曜日の昼間に開催する場合があります

市では、小見川地域の「観光施設案内」「食のまちめぐり」「ウォーキング」「サイクリング」など多目的に利用できるマップ作成を検討するために「まち自慢」ワークショップを開催します。ワークショップでは、小見川地域の観光資源などの再発見と掘り起こし、PR手法の検討を行い、市民や観光客に小見川地域の「まち自慢」を魅力的に紹介して、活性化を図ります。

■提出書類 応募書(商工観光課および各支所地域班に設置、または市ホームページからダウンロード)
 ■選考 申込多数の場合は、性別、年齢などを考慮の上、抽選を行います。抽選結果は応募者本人に通知します。
 ■その他 ワークショップには募集する市民のほか、各種団体などから推薦を受けた人も参加します。

■申込 11月15日(土)から12月1日(月)(必着)までに、郵送、持参またはファックスで287-8501 香取市佐原口2127 商工観光課 ☎(54)2855 http://www.city.katori.lg.jp/



参加者募集
小見川地域「まち自慢」ワークショップ
 商工観光課 ☎(50)1212

◇小見川地域のまちづくりに関心と熱意のある人
 ◇香取市の職員または議員でない人

■開催回数
 12月から平成27年10月まで1回程度。日程は後日お知らせします。

■募集数
 10人程度

■報酬など
 ワークショップの参加に伴う報酬などの支払いはありません。